

(19)日本国特許庁 (JP)

## (12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-125731

(P2002-125731A)

(43)公開日 平成14年5月8日 (2002.5.8)

(51)Int.Cl'

A 45 B 17/00  
9/02  
25/02  
25/18  
E 04 H 15/28

識別記号

F I  
A 45 B 17/00  
9/02  
25/02  
25/18  
E 04 H 15/28

F I

A 45 B 17/00

9/02

25/02

25/18

E 04 H 15/28

テ-モ-ト- (参考)

Z 2 E 1 4 1

D 3 B 1 0 4

A

F

審査請求 未請求 請求項の数 6 書面 (全 5 頁)

(21)出願番号

特願2000-373535(P2000-373535)

(22)出願日

平成12年10月24日 (2000.10.24)

(71)出願人

500541081

野月 配夫

東京都葛飾区高砂 5-22-13 ドゥルセオ

ガール101号

(72)発明者 野月 配夫

東京都葛飾区高砂 5-22-13 ドゥルセオガ

ール101

F ターム (参考) 2E141 A05 B805 C005 D002 E003

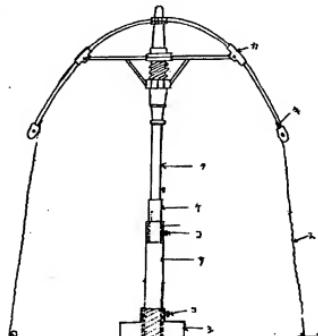
3B104 N04 U01

## (54)【発明の名称】 墓れにくいワンタッチ開閉傘型兼用簡易トイレ

## (57)【要約】 (修正有)

【課題】 墓れにくいトイレ兼用傘を提供する。

【解決手段】 従来の傘の骨の形状と材質を変え折れがりにくい材質のものとするとともに、骨と骨ケースの穴を傘の布をおさえる糸が通り、骨、骨ケース、布が一体となり、風などで風がたわんでもまた骨と骨ケースを結合させる接着剤がとれても、骨と骨ケースがはずれないようにしたと同時に傘の布の端のすその部分を広く折り二重に(2列)にミシンで縫い丈夫にすると共に傘のねじ山を切り中間にねじ部を取りつけそれを中間棒の中に差し入れネジで固定したものを台座に差し入れネジで締めて固定させる。傘の布の二重(二列)に縫って、ある所にファスナーをぐるりととり付け、軽くて、薄くて防水性があり、中が透けて見えない材質のカーテンをぐるりと取り付けそのカーテンの底部のすその部分の溝におもりと形を保つための特種なワイヤを通して安定具としカーテンの前部のファスナーを閉めて使用する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】図4と図6を見てわかるように、従来の傘の骨のAの部分はU字形で、ブリキのような材質であったが、それを自転車のスポーツのような、円柱状で適当な太さの太さで弾力性のある骨に変え曲がっても折れないようにしたものの日傘及び、パラソルも含む)

【請求項2】傘をおおう布の先端部分をおさえる糸ウを骨ケースAの穴と骨A'の糸通し穴と同一の穴を通して風などで骨がたわんでも骨ケースが骨からはずれないようにしたものの日傘及びパラソルも含む)

【請求項3】傘をおおう布の先端部分のおり返してあるところ(翻ひげ)を広くとり図8のオのよう傘の内側から二重(2列)にミシンで縫い破れにくくしたもので日傘、パラソルも含む)

【請求項4】図1の骨Bと骨C及び支柱の形状、機能はそのままで材質は自転車のスポーツのような折れががりにくい材質に変えたもの

【請求項5】図1を見てわかるように、傘のにぎり部1の底部にねじ山を切りにぎり部2と切り離すことができるようし、にぎり部の底部ににぎり部のよう色々のデザインのものを取りつけることができるよう傘及び日傘

【請求項6】図10のように傘のにぎり部1のケの底部にねじ山を切り中間用ににぎり部2を取り付け(にぎり部1がネジを締めた時傷かないように)それを中間棒サの内側に差し込み、ネジ:コで締めて固定し、さらにその中間棒を台座シに、入れ、ネジ:コで締めて固定し、図8を見てもわかるように傘の内側のミシンで、縫ってある、丈夫な所、にぐるりとファスナーを取り付け、軽くて、薄くて防水性があり、内部が透けて見えない材質のカーテンを取り付け、そのカーテンの底部に図11のように、安定具(特種なワイヤーのようなものも、ビニール等で被ったもので先端は、カーテン底部の安定具を通す溝を傷つけないように丸めて作ってあります)を付けてたがいにひもで結ぶことができるよう、した適当な重さのあるもので、丸めて簡単に収納できるの)を傘のまわりにぐるりと垂れたカーテンの底部にミシンで縫って安定具を通す溝を作りそこに安定具を通し先の部分を互いにひもで結び、カーテンの前部に取り付けである

【発明の詳細な説明】

【0001】(発明の属する技術分野) 本発明は、壊れにくい傘及びそれを用いて作った、車の停滞した時にやむをえず使用する簡易トイレである。

【0002】(発明の技術) まず傘の部分においては基本的には従来の傘で良いが、ただ、風や雪等に弱く強い風の日などは町中に多くの傘が飛げ捨てられていた。それは、図1でわかるように、傘の骨Aの部分が図4を見てわかるように薄い、ブリキのような材質でU字

形をしていた為に曲げにとても弱かった。番、壊れた部分が多いのが、この部分であった。次に骨Aと骨Aを納め骨ケースがはずれやすかったそれは、図6を見てわかるように、骨ケースにあけたある糸通し穴Aと骨Aの同じ穴を通り糸で一体となつていなかった為、骨ケースと骨を接着させていた接着剤がとれると、すぐにははずれやすかった。また、カサを被っている布の先端部分の折り返した部分つまり縫い代が壊れたそれは、外見の見た目を良くする為であったが、破れやすかった。また、支柱の形状及び機能はそのまま良いが強い風で曲がりやすかった。また、図10を見てわかるように、傘のにぎり部1の内部にねじ山を切り色々なデザインのにぎり部2を取り付られるタイプのものは今までなかったよう

に思う。また、この本発明の壊れにくい傘を利用して、この傘の内側に薄くて軽くて、防水性があり、中が見えない材質のカーテンを傘に取り付け、また傘のにぎり部1の底部にねじ山を切り、中ににぎり部を取り付け、さらにそれを中間棒の中にねじそれを台座に入れて、ねじで締め固定し、カーテン前部のファスナーを締めカーテンのその底部の溝にカーテンが風で飛ばないように安定具として通してある特種なワイヤーのような物をビニール等で被ってある物を先をひもで結んで使用する傘型緊急用簡易トイレは今までなかった。

【0003】(発明が解決しようとする課題) まず、壊れにくい傘を作る為に、図1の骨Aを強度のあるものにしなければならなかった。また骨BとCについても同様であり支柱も強度が必要だった。また、骨ケースと骨Aがはずれないようにしなければならなかった。また、傘の布のすの部分の縫い代がせまかった。また、にぎり部1とにぎり部2を分離させて色々のデザインのにぎり部と交換できなかった。また車の長時間の停滞などの時トイレに行きたくても道路上、特に高速道路上などではできず大変であったその為傘のようにワンタッチで開いてトイレになれるような簡易トイレが必要だった。

【0004】(課題を解決するための手段) 上記の問題を解決する為に本発明は図1の骨AをU字形でブリキのような材質から自転車のスポーツのような円柱状で曲がっても折れない材質に変えた。また骨Bと骨Cについても形状は従来のまま材質を折れ曲がりにくい、自転車のスポーツのような材質に変えた。また支柱についても同様に強度のあるものにした。(簡易トイレ用日傘として使う場合は特に骨A、骨B、骨C、及び支柱の太さも普通の壊れにい傘として使用する場合よりも太く丈夫に作った方が良い) また、骨A'の先端に糸通し用の穴を図7ののようにして骨ケースの穴と骨の先端の穴を傘を被っている布の先端をおさえる通し糸が通り骨A'と骨ケースと傘を被う布が一体となり骨ケースの間の接着剤がとれても、骨A'が骨ケースからははずれないようにした。また、傘を被っている布の先端のすその部分の折り返しまり縫い代を広くとりそこをミシンで

二列に縫い、破けにくくした。また、図10を見てもわかるように、傘のぎり部1の底部にねじ山を切り、にぎり部2の上部にもねじ山を切り分離できるようにした。また色々のデザインのにぎり部を取り付け楽しむことができるようになった。このにぎり部1の底部に図10を見てわかるように中間にぎり部ツを取り付けさらにそれを中間棒サに差し入れねじで締め固定その中間棒を台座に差し入れ、ねじコで締め固定し、図8を見てもわかるように傘の内側のミシンで縫てある、丈夫な所をぐるりとファスナーを取り付け、軽くて薄く、防水性があり、内部が透けて見えない素材のカーテンを取り付けそのカーテンの底部に図11のように安定具(特種なワイヤーのやうなものをビニール等で被ったもので先端はカーテン底部の安定具を通す溝を傷つけないように、丸めて作ってあ輪もつけて互いに先端でもて結ぶことができるよう)に適当な重さのあるもので丸めて簡単に収納できる(もの)を傘のまわりにぐるりと垂れたカーテンの底部にミシンで縫て安定具を通す溝を作りそこに安定具を通し先の部分を互いにひもかジッターブ(登録商標)を取り付け結合させ前部のファスナーを上げて縫て使う壆にぐるんタッチ開閉傘型のトイレにした。

【0005】【発明実施の形態】本発明は従来の傘に骨の材質、形状、強度、また支柱の材質等を変えて強度を強くさらに骨ケースと骨が同一の通し穴を通ることにより骨と骨ケース、布が一体となり骨と骨ケースよりはずれないようになし、傘の布の先端部分のすそ部分を広く折り返し、いわゆる縫い代を広く取りそこにファスナーを取りつけ、適当な材質のカーテンを取りその底部に特種なワイヤーのやうなものを通して風が吹いても飛ばないようになし。さらに支柱のぎり部1を中間にぎり部にそしてさらにその中間にぎり部を中間棒に中間棒を台座に差し入れ固定し、前部のファスナーを締めて緊急時に使用する簡易トイレにした。

【0006】本発明の傘の骨A'は円柱状であり骨A'と骨Bとの結合部D'は図3のやうな金具を使用するわけであるが骨A'が円柱状である為にその取り付け部がすべりやすいので骨A'にガムテープを巻きつけるか薄いゴム板を巻きつけてから金具を取り付け、トの部分を骨A'にそって少しづぶしてから、ねじで締めて固定する。

【0007】本発明の壆ににくい傘を傘としてだけ使用する場合は、傘の内側にファスナーを取り付ける必要はない。しかしトイレとしても使用する兼用型とする場合は、ファスナーは取り付ければならない。骨A'骨B、骨C、及び支柱の太さなどは、その用途に十分耐えうるものにしなければならない

【0008】骨A'の上に骨Bと結合させる取付け金具があるのが多少凸凹があり骨を傷つけやすいのでその上に細くて目立たない程度の布をかぶせ縫いつけた方が

良い。

【0009】カーテンの底部をカサの底部よりも図9、図11のように広く作ると、トイレとしてゆったり使用できる

【0010】【発明の効果】本発明は、以上説明したような形態で実施され、以下に記載されるような効果を奏する

【0011】本発明壆ににくい傘は図1のA'の部分が曲がっても折れにくい自転車のスポークのような材質でできており、また骨B、骨C、そして支柱も形状や機能は同じであるが材質が折れ曲がりにくい材質で作ってあると共に骨の厚さも厚く作って、あるので風や雪で骨が折れまがることが少ない。

【0012】本発明傘は骨ケースと骨が一つの穴を通し糸が通り一体となっている為に骨A'が頗るなどでたわんで骨ケースと骨との接着剤がはがれても骨が骨ケースから抜け出ることはない。

【0013】本発明壆ににくい傘は傘の布の部分のすそ部分が広く折り返してある為につまり、縫い代を広くとりミシンで2重に(2列に)縫ってある為に壆ににくい。

【0014】本発明壆ににくい傘はにぎり部を色々な形状のものに変えて使用できるとともにそのにぎり部に中間にぎり部、中間棒、台座などを取り付け、又傘の内側にファスナーをぐるりと取りつけそれにカーテンをぐるりとつけてその底部の溝に安定用具を通してカーテンの前部のファスナーを開めてトイレとして使用できる

【0015】本発明の傘型トイレは持ち運びが便利で小型で軽く、しかもワンタッチで開閉できるので素早く使用が簡単にできる

【図面の簡単な説明】

【図1】傘の骨の略図である

【図2】傘の骨A' と骨Bとの結合部に用いる金具のそれぞれ上面図と側面図と正面図である

【図3】傘の骨A' と骨Bを結合させた場合の側面図である

【図4】従来の骨Aのそれぞれ上から上面図、側面図、底面図である

【図5】本発明の骨A' のそれぞれ上から上面図と側面図と正面図である

【図6】従来の骨Aが骨ケースに納っている時の断面図である

【図7】本発明骨A' が骨ケース11に納っている時の断面図である

【図8】傘の内側の先端に広くミシンで縫い代をとり2列にミシンで縫いさらに、ファスナーを取り付け場合の底面図である

【図9】傘にカーテンを取り付けた場合の略図である

【図10】にぎり部1ににぎり部2が納っている時の断面図とそれぞれの形のにぎり部と中間棒の正面図である

【図1】傘に取り付けたカーテンの前部のファスナーを締めトイレとして使用する時の正面図である

【図2】傘に取り付けたカーテンのすその部分(底部)の溝の部分を通して使用する安定具のそれぞれ上から側面図と上面図である

【符号の説明】

A 従来の傘の骨

A' 本発明の骨

B 骨B

C 骨C

D 骨A' と骨Bの結合部

ア 従来の骨Aが納まる骨ケースIと布とを一体化させる為の穴

イ 本発明の骨A' と骨ケースIIと布とを一体化させる為に通る糸の通し穴

ウ 通し糸

エ 本発明の骨A' と骨Bとを結合させる金具の押しつ

ぶす部分

オ ミシンの縫い目

カ 本発明骨A' と骨Bとを連絡させる為の金具

キ ファスナー

ク 傘の支柱

ケ にぎり部1

コ ねじ

サ 中間棒

シ 台座

10 ス カーテン

セ 安定具

ソ ねじ山

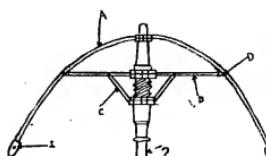
タ にぎり部2

チ 形状のちがうにぎり部2

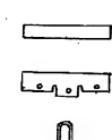
ツ 中間にぎり部

テ ボルト(ネジ)

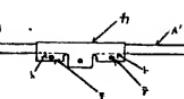
【図1】



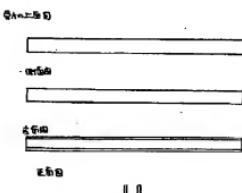
【図2】



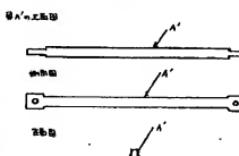
【図3】



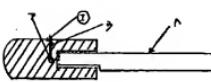
【図4】



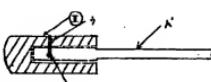
【図5】



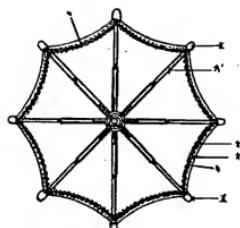
【図6】



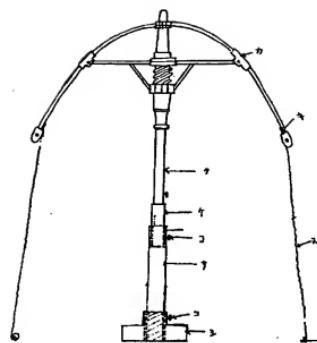
【図7】



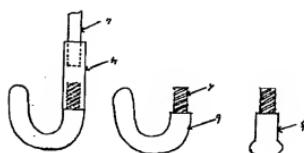
【図8】



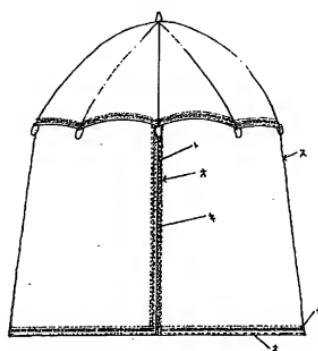
【図9】



【図10】



【図11】



【図12】

